

2024 年 4 月 5 日

2023 年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 エコベル研究会

代表者・役職名 氏名 山澤ほなみ・会長

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

SDGs で街を元気に～エコベル活動を通して考えよう、身近な SDGs～

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

教え子だったかつての子どもたちと不定期に集まった同窓会をきっかけに始めた会。近況報告や悩みを話し合ううちに、自分たちの問題と社会の問題が相関関係にあることに気づく。誰もが生きやすい世界、助け合える社会、その方向に少しでも近づけたいと人格なき社団法人を取得。それぞれの生活で忙しくなり、人は入れ替わっても、その意識を引き継ぎ活動を続けている。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

SDGsを考えることはこの先ずっとこの地球で生きていく孫子たちの未来の地球の姿を考えること、そして、今の自分たちの生活の仕方、生き方を問い直すことだ。そういうとたいいの人は「そんな余裕ない」というが、それは違う。今のおとなたちが疲弊しきって苦しい日々を送っているなら、子どもたちはそんな大人の姿を見て自分の未来に絶望するだろう。SDGsとは「楽しいおとなの倍增計画」なのだ。そして最近もう一つ繋がりが見えてきた。それは、芸術脳こそ人が人らしく生きていくために必要不可欠な能力だということ。皆が幸せになるためには自分の得たものはシェアすることが必要。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

- ・エコベルの作成・調律・研究・宣伝(随時)
- ・エコベル練習・エコベル演奏(月 2～3 回)
- ・ワークショップやコンサートの企画・運営(随時)
- ・リサイクル・リユース品の制作・CD の録音政策と販売(活動資金調達のため)
- ・コンサートの実施・録画・配信(コンサート時)

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

「実施回数」と「結果」は別紙参照

- ・「成果」—私たちの公演を観てくれた人たちが自ら動こうと姿勢を変え始めている。何も持っていない私でも実際にやることができ、なんとか生きているのだから、そんなに怖がらなくても大丈夫ではないかと意識が変わってきている。初めは教え子たちだけだったがその他にも波及していることを感じる。
- ・「社会的な変化」—「人が敷いてくれたレール」は、自分に合っているものなのか、もしかして自分に合った道が他にあるのではないかと確かめるようになってきている。自分探し、自分のやりたいこと、ワクワクすることを見つけて生きていきたいと願う人が増えてきた。

・「効果」—今は過渡期。効果が出てくるのはもう少し先、今は堪え時だと思っている。長年しみついてきた人の生き方がそう簡単に変わるものではない。それでも当初、胡散臭そうに見えて冷ややかな反応だった人たちの見る目がだいぶ変わってきた。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

・今回、ちょっとやりすぎて会長が体を壊した。自分たちがやりたくてやっている事業なのに、動けなくなったのでは迷惑でしかない。倒れるまでやるのは誰のためにもならないということがわかった。エコベル研究会を支えてくれている子どもたち、周りのおとなたちにも迷惑をかけてしまうことになる。今後も無理せず継続して地道に活動していける道を模索していく。SDGs(持続可能な道)は自分たちにとっても必要な道なのだということがわかったし、皆が必要としている道ならば必ず開けていくものだ、ということもわかってきた。

・「楽しいおとなの倍増計画」を今後も続けていく。それこそがこれからの世界を創ってを生きていく子どもたちのためだということがよくわかってきた。それには、自分たちもワクワクすることを求めて生きていくことが大事。そして、今後は、ワクワクが一致する人とつながりながら、一つ一つ丁寧に仕事をやっていくことを心掛ける。その先に争いのない自尊心を傷つけあうことのない平和な世界がある。

・まずは、パソコンが動かせないと仕事にならないことが分かったが、パソコンのわかる人がうちの会にいない。パソコンのできる人を見つけるか、自分がつまずいた時に解決してくれる人を見つけることからまず始めようと思う。パソコンを使わずともできることはこれまで通り進めていく。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

炭焼き体験（11/5 窯詰め・11/18 火入れ・12/3 窯出し）写真



この炭焼き窯、地元の人たちが一緒になって作ったんだって！昔の人は必要なものは、何でも自分たちで創り出していったんだね。



「このたらいはなあに？」

「竹酢液を取るための装置だよ。竹酢液は作物にかけると防虫になるし、臭い取りにも使える。人体に害のない自然の農薬だよ。」

「すごい！昔の人はSDGsを自然と考えてやっていたんだね。」



絵うま〜い。
 祐乗坊さん
 そっくり！
 私も炭鉛筆、
 作りたい！

火打石の火起こし体験にお花炭作り体験。
 祐乗坊先生を独り占め?! すごいな、
 なあ〜んてぜいたくな時間!!



炭焼き体験（11/5 窯詰め・11/18 火入れ・12/3 窯出し）写真



一緒に焼いてもらった竹炭で作ったドアハーブ。
とっても優しい音色がします！



壊れぬように崩さぬように
和紙に貼り付けるのが難し
かったお花炭の額作り。
同じ黒でも葉っぱによって
いろんな黒があっておもし
ろい！
臭い消し代わりにお部屋に
飾るのはどう？